

平成26年1月に行われた夏向き振袖の着物ショーには多くの関心が寄せられた。



専門家派遣事業

夏に着られる涼しい振袖を発売し若い女性が着物を着る機会を創出

秋田では夏に成人式を行う市町村が多いため、振袖を着る機会がないままになってしまう女性もいる。それならばと、夏でも着られる涼しい振袖が創り出された。

信頼が厚く専門性の高い呉服店

湯沢市の川連町で服飾品を中心に雑貨全般を扱っている個人商店「美しいきもの 喜久屋」は創業65年になる。

二代目店主の須田豊さんが店を継いだ頃は呉服の需要は減りつつあったが、須田さんはあくまでも呉服を中心にした商売をしたいと考え、染め直しなどの相談にも乗れるような専門性の高い店を目指してきた。

夏でも着られる涼しい振袖を商品化

喜久屋では今、夏に着られる振袖の商品化に取り組んでいる。現在秋田県内では秋田市、男鹿市、由利本荘市、及びにかほ市以外の全ての市町村で夏に成人式が行われている。振袖は日本の未婚女性の礼装だが、暑さから振袖での参加が難しかった。しかし成人式を逃すと女性は振袖を着る機会が殆どなくなってしまうことになる。

須田さんは、紗や絹などの夏用の生地で作られた振袖を探してみたが市場に出回っているものはなかった。絹は一反が通常は12メートルで織られていて、それでは振袖をつくるには長さが足りないという実情もあった。

須田さんは新潟の織元を回って特別に16メートル

美しいきもの 喜久屋

〒012-0105 秋田県湯沢市川連町久保70-1
Tel. 0183-42-2421 Fax. 0183-42-4873
<http://natsuirokomachi.com/>
E-mail yutaka@yutopia.or.jp
営業時間/8:00~20:00
定休日/毎月第3日曜日

の長さの絹を織ってもらい、友禅染で若々しく涼しげな色合いに染め上げた。仕立てにも工夫を凝らし、襦袢を着ているように見せたり、生地 of 薄さを生かすつつも透けないようにしたりした。

今年の夏の成人式から振袖姿が登場

夏用振袖の開発から商品化にあたっては、あきた企業活性化センターの専門家派遣事業を利用し、販売・マーケティング分野で女性専門家の派遣を受けて、「涼やか振袖 夏色小町」という当該商品のネーミングの他、パンフレット制作のコンセプトづくり、プロジェクト全体の工程表づくりなどのアドバイスを受けた。

平成26年1月に行われた当該商品の着物ショーには200人の来場者があり、多くの関心が寄せられた。また、3月には初めての予約相談会が湯沢文化会館で行われた。

「今年に入ってから着物ショーやホームページをご覧いただいてメール・電話での問い合わせが増えました」(須田さん)

今年の夏の成人式では、初めて絹の振袖を着た若い女性の華やかな姿が見られることだろう。



- 1 「涼やか振袖 夏色小町」の1枚。友禅染を学ぶ秋田公立美術大学の学生の卒業制作としてつくられ、学長賞を受賞している。
- 2 夏用の振袖の商品化にはめどがついてこれからが、ビジネスモデルの確立という須田豊さん。
- 3 夏用の着物生地「絹」にオリジナルの染めを施した。見た目にも涼しげ。
- 4 着物以外にもギフト品や雑貨などを幅広く取り扱っている。



事業の解説

専門家派遣事業

創業や経営の向上を図ろうとする中小企業者等が抱える様々な課題に対し、当センター登録の民間専門家を派遣し、課題解決のための診断・助言を実施します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／企画・総合相談担当まで。